

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 24 年 8 月 9 日 (2012.8.9)

【公開番号】特開 2011-8606 (P2011-8606A)
 【公開日】平成 23 年 1 月 13 日 (2011.1.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-002
 【出願番号】特願 2009-152625 (P2009-152625)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 1/32 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 1/00 3 3 2 Z

G 0 6 F 3/12 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 6 月 25 日 (2012.6.25)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

W e b サーバにより提供される操作画面を表示する W e b ブラウザを備えた情報処理装置であって、

前記 W e b ブラウザに表示された操作画面を介したユーザ操作を検出する検出手段と、
 前記検出手段が検出したユーザ操作の内容に従って、前記 W e b サーバに対する通知を行う通知手段と、

前記通知手段による通知を行った後、前記 W e b サーバから処理の実行要求を受けた場合に、当該実行要求に応じて画像データを処理する処理手段と、

前記検出手段が検出したユーザ操作の内容に従って、前記 W e b サーバから前記実行要求を受ける前に、前記処理手段を起動させる制御手段と、
 を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記処理手段は、通常電力モードまたは当該通常電力モードよりも消費電力が小さい省電力モードのいずれかで動作することが可能であって、

前記制御手段は、前記処理手段が省電力モードで動作している状態から前記通常電力モードで動作する状態へと移行させることにより、前記処理手段を起動させることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記 W e b ブラウザが、前記検出手段が検出したユーザ操作の内容に対応する U R L にアクセスする際に、当該 U R L が特定の U R L であるか否かを判定する判定手段を更に備え、

前記判定手段による判定の結果、前記 W e b ブラウザがアクセスする U R L が前記特定の U R L であると判定された場合に、前記制御手段が、前記処理手段を起動させることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記処理手段は、互いに異なる処理を実行する複数の処理手段を含み、

前記複数の処理手段のうち 1 つまたは複数の処理手段を、前記特定の U R L に関連付け

て登録する登録手段を更に備え、

前記制御手段は、前記WebブラウザがアクセスするURLが前記特定のURLであると判定された場合に、前記複数の処理手段のうち、前記特定のURLに関連付けて登録されている処理手段を起動させることを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記特定のURLと前記複数の処理手段のうち1つまたは複数の処理手段とを関連付けるための情報を前記Webサーバから受信する受信手段を更に備えることを特徴とする請求項4に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記処理手段は、原稿上の画像を読み取って画像データを生成する読取手段、または画像データに基づいて印刷を行う印刷手段を少なくとも含むことを特徴とする請求項1から5のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項7】

Webサーバにより提供される操作画面を表示するWebブラウザと、画像データを処理する処理手段と、を備えた情報処理装置の制御方法であって、

前記Webブラウザに表示された操作画面を介したユーザ操作を検出する検出工程と、
前記検出工程で検出したユーザ操作の内容に従って、前記Webサーバに対する通知を行う通知工程と、

前記通知工程で通知を行った後、前記Webサーバから処理の実行要求を受けた場合に、当該実行要求に応じて前記処理手段により画像データを処理する処理工程と、

前記検出工程で検出したユーザ操作の内容に従って、前記Webサーバから前記実行要求を受ける前に、前記処理手段を起動させる制御工程と、

を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項8】

請求項7に記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、Webサーバにより提供される操作画面を表示するためのWebブラウザを備えた情報処理装置、情報処理装置の制御方法、プログラムに関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は、上記の問題点に鑑みなされたものであり、Webブラウザに表示された操作画面を介したユーザ操作の内容に従って、Webサーバから処理の実行要求を受ける前に、処理手段を起動させる仕組みを提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記の目的を達成するために本発明の情報処理装置は、Webサーバにより提供される操作画面を表示するWebブラウザを備えた情報処理装置であって、前記Webブラウザ

に表示された操作画面を介したユーザ操作を検出する検出手段と、前記検出手段が検出したユーザ操作の内容に従って、前記Webサーバに対する通知を行う通知手段と、前記通知手段による通知を行った後、前記Webサーバから処理の実行要求を受けた場合に、当該実行要求に応じて画像データを処理する処理手段と、前記検出手段が検出したユーザ操作の内容に従って、前記Webサーバから前記実行要求を受ける前に、前記処理手段を起動させる制御手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明によれば、Webサーバから処理の実行要求を受ける前に、Webブラウザに表示された操作画面を介したユーザ操作の内容に従って、処理手段を起動させることができる。